

有島記念館

「有島一族と音楽」

小説家であった有島武郎や里見弴、洋画家であった有島生馬、この三人を指して「有島芸術三兄弟」とも言われています。また、有島一族全体に目を広げると、音楽や映画など芸術に秀でた人物を輩出しています。例えば、指揮者や作曲家として活躍した山本直純(1932-2002)。彼は、実は有島武郎の妹の孫だったのです。有島や山本家の足跡を、当館所蔵の作品や資料をとおしてご紹介します。

【同時開催】 前川茂利写真展(8月21日まで)
楽しい子供の美術展(8月27日より)

所在地 〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57番地
TEL 0136-44-3245
URL <http://www.town.niseko.lg.jp/goannai/arishima.html>
開館時間 9:00-17:00(入館16:30まで)
休館日 会期中無休(ただし臨時休館することがありますので、詳細は有島記念館までご確認ください)
入館料 一般500(400)円/高校生100円/中学生以下とニセコ町在住の65歳以上は無料。※()内は10名以上の団体料金
交通案内 <JR>ニセコ駅より徒歩約30分(約2.5km)、タクシー5分 <バス>道南バス[倶知安駅発]「有島記念館前」下車 徒歩5分



有島武郎《軽井沢風景(秋の軽井沢)》1919年

一般財団法人 荒井記念美術館

「人生讃歌」

病める時、健やかな時。貧しき時、富める時。
人がそれぞれの日々を送る中で、翳りがさす時間もあれば、極彩色に彩られる場面もあります。ピカソは山あり谷ありの人生を送る中で、家族・友人・恋人を愛し、彼らの感情の機微を描くことで人生の素晴らしさを表現しました。画家によって切り取られた、鮮やかな人生の一幕をご紹介します。

【同時開催】 ピカソ版画常設展Ⅱ「Dance with Picasso!」

所在地 〒045-0024 北海道岩内郡岩内町野東505
TEL 0135-63-1111
URL <http://www.iwanai-h.com/art/>
開館時間 9:00-17:00(入館16:30まで)
休館日 月曜日(11月中旬～4月中旬 冬期休館)
入館料 一般1,000(900)円/大・高校生700(600)円/小中学生400(300)円
※()内は10名以上の団体料金 その他各種割引あり
交通案内 <バス>中央バス 荒井記念美術館前下車



西村計雄《母子像》1942年

木田金次郎美術館

「色彩のコーラス」

様々な「色」が画面に踊る絵を見ると、私たちの気持ちもワクワクしてきます。岩内で描き続けた木田金次郎は、屋外の自然や身近な花や果物を描くときに、色で対象を表現しようとした「カラリスト」でした。同じく後志で育った作家たち、そしてピカソはどんな色を使っているのでしょうか——?色彩が織りなすコーラスをおたのしみ下さい。

【同時開催】 特別展示 木田金次郎の〈肖像〉

所在地 〒045-0003 北海道岩内郡岩内町万代51-3
TEL 0135-63-2221
URL <http://www.kidakinjiro.com/>
開館時間 10:00-18:00(入館17:30まで)
休館日 月曜日(MR期間中7月28・29日は展示入れ替えの為休館)
入館料 一般500(400)円/高校生200(150)円/小中学生100(80)円
※()内は10名以上の団体料金・リピーター割引・JAF割引
交通案内 <バス>中央バス 岩内ターミナル下車 徒歩1分



木田金次郎《りんご》1960年

※8月23日(火)から28日(日)までは、「高文連岩内高校美術部作品展」開催のため、展示構成・会場が変わります。ご了承下さい。

西村計雄記念美術館

「線のリズム」

線は、ものの形や動きなど、さまざまなことがらを表すことができます。本展では、後志の美術館・博物館が所蔵する作品にみられるさまざまな「線」に注目し、材質によって異なる線の表情や、作中の線の効果や意味を探ります。

【同時開催】 画業をたどる展覧会「西村計雄 夏の水辺」

所在地 〒048-2202 北海道岩内郡共和町南幌似143-2
TEL 0135-71-2525
URL <http://www.musee-nishimura.jp/>
開館時間 9:00-17:00(入館16:30まで)
休館日 月曜日
入館料 一般500(400)円/高校生200(150)円/小中学生100(80)円
※()内は10名以上の団体料金
交通案内 <JR>函館本線小沢駅下車 ハイヤー約10分 <バス>中央バスまたはニセコバス「共和役場前」下車 徒歩約15分



西村計雄《パリの町と月》1963年

小川原脩記念美術館

「奏でるカタチ」

音を奏でる楽器の形は、世界各地、シンプルなものから複雑なものまで多種多様ですが、平面では円・三角・四角、立体なら円柱・円錐・球といったカタチから構成されています。晩年、小川原脩の描く壺、家、樹木、動物たちは次第に余計なものがそぎ落とされて、作品には○△□という単純な形が現れます。また、絵画の中では、いくつかの形が配置されることで空間ができあがります。それぞれの作家が描くカタチが生み出す空間と音のイメージをお楽しみください。

【同時開催】 小川原脩のラダック

所在地 〒044-0006 北海道虻田郡倶知安町北6条東7丁目1
TEL 0136-21-4141
URL <http://www.town.kutchan.hokkaido.jp/culture-sports/ogawara-museum/>
開館時間 9:00-17:00(入館16:30まで)
休館日 火曜日(ただし7月20日～8月15日は夏休み特別開館期間のため休館日なし)
入館料 一般500円(400円)/高校生300円(200円)/小・中学生100円(50円)
※()は10名以上の団体料金
交通案内 <JR>函館本線倶知安駅下車 徒歩30分またはハイヤー10分



小川原脩《静寂の場》1998年

